

# 農林水産大臣賞

やどりはら 宿利原地区公民館（鹿児島県錦江町）  
きんこうちょう

地区住民と多様な主体とが連携し、地域資源を生かした農業振興、都市農村交流、教育支援等地域ぐるみの農村づくりを実践。

## 1. 地区の概要

錦江町宿利原地区は、大隅半島中南部の標高200mの山間部に位置した農業が盛んな地区で、主に、夏場は葉たばこやさつまいもを、冬場は加工用大根や高菜などを生産している。

## 2. 団体の概要

宿利原地区公民館は、10集落(自治会)で構成され、総務部、産業部、文化部、女性部、子ども育成部などの7専門部会があり、各部会で各種事業の企画・運営を行っている。

## 3. 団体の取り組み

- 立地条件を生かした加工用大根の産地として、機械の共同利用による労働力不足の解消、コスト低減や収量及び品質向上に取り組んでいる。
- 多様な主体と連携し、平成21年から切れ目なく開催している「大根やぐら」のイベントには県内外から約1,400人が訪れ、地区の認知度向上や生産者の自信と誇りの回復につながっている。
- 財源確保に向け、女性部と県内の大学生が連携し、干し大根漬けの商品化、大根を題材にした絵本の製作・販売等を実施している。
- 地区の小学生が様々なことを体験ができるよう、県内のNPOや関東の大学生と連携し、寺子屋塾等を企画・運営している。



家族も総出、地域で加工用大根の収穫作業



多くの人々に賑わう大根やぐらライトアップイベント



大学生による夏の寺子屋塾